

次期「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の基本理念・基本方針について

1 基本的な考え方

- (1) 次期計画は、これまで本市が取り組んできた取組みや今後目指すべき方向性を大きく転換するものではないことから、現行計画における基本理念「循環型社会の構築」や、「発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）」「再資源化（リサイクル）」「ごみ処理システムの構築」の3つの柱で構成する基本方針という枠組みを継続する。
- (2) 現行計画の基本理念・基本方針をベースとしつつ、近年の動向や社会的課題など、次期計画期間において考慮すべき考え方・表現を取り入れる。

2 ごみ処理を取り巻く状況

(1) 近年の動向

「循環型社会形成の促進」

- 「排出抑制」を大前提とした3R（リデュース・リユース・リサイクル）の更なる推進

「持続可能な社会の実現」

- 「持続可能な開発目標（SDGs）」を踏まえたごみ処理体制の構築

「地球温暖化対策」

- 2050年カーボンニュートラル及び脱炭素社会の実現に向けた取組
- 激甚化・頻発化する自然災害

「人口減少及び少子高齢化の進展」

- 廃棄物・資源循環分野の担い手不足
- 高齢者などの「ごみ出し困難世帯」の増加

「新型コロナウイルス感染症の影響」

- 「新しい生活様式」の定着によるごみ量・ごみ質の変化

(2) 社会的な課題及び要請

「プラスチックごみ対策」

- 「プラスチック資源循環戦略」の策定、「プラスチック資源循環促進法」の成立
- 海洋（マイクロ）プラスチックごみ対策を含めた資源循環の構築

「食品ロス対策」

- 「食品ロスの削減の推進に関する法律」の施行
- 食料の多くを輸入に依存している現状、「SDGs」への対応

「古紙類の対策」

- 古紙類の輸入規制に伴う古紙価格の下落、回収古紙の品質の維持及び改善

「災害時の廃棄物対策」

- 風水害をはじめ首都直下地震の切迫など自然災害全般に対する備えの強化

「廃棄物・資源循環分野でのICTの導入」

- 排出者の利便性向上、処理の効率化及びコスト低減、担い手不足の解消

(3) 本市における取組状況

「現行計画の取組」

→ さらなるごみの減量・再資源化の実現、3用地2清掃工場運用体制の確立

「現行計画の目標達成状況」

→ 順調に推移（※R2年度目標達成）… 総排出量、焼却処理量、最終処分量

→ 改善・見直しが必要（※R2年度目標未達成）… 再生利用率、温室効果ガス排出量

3 基本理念・基本方針の検討

以下のキーワードや考え方を参考に、現行計画をベースとしつつ、次期計画における基本理念・基本方針を検討する。

【キーワード】

社会情勢

#人口減少・少子高齢化社会 #SDGs #持続可能性 #地球温暖化対策 #気候危機
#カーボンニュートラル #脱炭素 #新型コロナウイルス #ICT #スマートシティ

廃棄物・資源循環分野

#海洋プラスチック問題 #プラスチック資源循環 #環境負荷 #リニューアブル
#食品ロス #適正処理 #廃棄物エネルギー #災害廃棄物

#国・地方公共団体・事業者・国民による重層的な取組（連携）

上位計画（市基本計画、環境基本計画）

#みんなでめざす未来の千葉市 #多様な主体 #3Rの取組み推進 #循環型社会の構築

○基本理念

| | |
|------|--------------------------------|
| 現行計画 | 全員参加型3Rによる 未来へつなぐ 低炭素・循環型社会の構築 |
|------|--------------------------------|



| | |
|------|--|
| 次期計画 | 案1) 未来の市民へ届ける持続可能なまち みんなでつくる脱炭素・循環型社会 案2) みんなのため、未来の市民のために、今、わたしたちにできること ～脱炭素・循環型社会の構築～ 案3) いつまでも安心して暮らせるまちを目指して 未来に向かってみんなを取り 組む持続可能なまちづくりと脱炭素・循環型社会の構築 |
|------|--|

○基本方針

(1)「発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）」に向けた方針

| | |
|------|---|
| 現行計画 | 1人ひとりがごみを出さないライフスタイル・ビジネススタイルの確立による、2R（リデュース・リユース）を目指します。 |
|------|---|



| | |
|------|---|
| 次期計画 | 案1) 発生抑制に最優先で取り組み、できるだけごみを出さない社会を目指します。 案2) 発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の徹底により、ごみの総排出量を一層削減します。 案3) 発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の取り組みを推進し、可能な限りごみを出さない・ごみにしないライフスタイル・ビジネススタイルの確立を目指します。 |
|------|---|

(2)「再資源化（リサイクル）」に向けた方針

| | |
|------|---|
| 現行計画 | 再生利用率を高めるための効果的な再資源化施策と、市民・地域・事業者との協働や地域活動への支援により、さらなる焼却ごみ量の削減を目指します。 |
|------|---|



| | |
|------|---|
| 次期計画 | 案1) 再資源化を推進し、モノの価値をできるだけ活かしていく社会をみんなで目指します。 案2) 資源物のさらなる有効活用にみんなで取り組み、環境負荷の低減を図ります。 案3) 市民・地域・事業者・行政が連携し、適正なごみの分別・排出と持続可能なリサイクルの取り組みを推進することで、環境負荷の低減を目指します。 |
|------|---|

(3)「ごみ処理システムの構築」に向けた方針

| | |
|------|---|
| 現行計画 | 低炭素・資源循環へ貢献する、経済・効率性と安定・継続性に優れた、強靭なごみ処理システムの構築を目指します。 |
|------|---|



| | |
|------|---|
| 次期計画 | 案1) 災害などの様々なリスクにも対応できる、持続可能で強靭な廃棄物処理体制を目指します。 案2) 市民の生活環境を守る、安全・安心で安定的なごみ処理体制を構築します。 案3) 持続可能な循環型社会の構築に貢献し、災害などの様々なリスクにも対応できる、安定と効率性に優れた強靭なごみ処理体制の構築を目指します。 |
|------|---|